

# 道路は住民の声など下から目線で(須田委員)ポンプ場の耐水化を進めよ(本西委員)=8月3日

**須田委員** 知恵を出して抜本策を考えよ。一方、陳情はスーパー堤防の中止を求めている。体をなしていない例はいくつもある。堤体内のトンネル、空間スペースのある引込み線、堤防に異物。18班はつながらない偽りのスーパー堤防だ…。

**高木秀隆委員(自民)** 区民の安全を守る視点は重要だ。スーパー堤防も内水氾濫も計画的、バランス良くすべき。区が出来ることは区、都に求めることは要請せよ。

**栗原佑卓委員(維新)** 区内では内水氾濫対策が重要と思う。

**渡部委員長** 本日は継続とする。

## ー建設委員会傍聴記ー

8月3日(月) 午前10時から建設委員会が開かれ、前回に続いて執行部と活発な審査が行われました。以下は当日の様相です。

**渡部委員長** 審査を始めます。第3号から土木部 補助283号線は1950mある。そのうち軒数は270物件。地権者は不明だ。

**須田委員** 道路拡幅の際、関係住民の意向など調査したのか。

**土木部** 平成16、17年に283号線を含めた街づくりとして、スーパー堤防計画を説明したが、その時に道路の説明はしていない。

**須田委員** 当時、スーパー堤防は大きな話題となっていたが、その後はどうか。陳情があることは改めて調べる必要がある。前回の外環道の資料は千葉側のみ、都側の資料はどうか。賛否は別に住民の意向を聞くべきだ。区としてはどう考えるか。

**土木部** 東京都と中間報告をまとめた。10カ年分だ。今後、パブリックコメントとして住民、地域の声を聞いてゆく。

**須田委員** 事業化決定してから説明するのは上から目線。地元の声、道路事情など下か

ら目線が必要だ。

**本西委員** 283号線は葛飾区境から北小岩3丁目までだ。葛飾区側はどうか。

**土木部** 未着手だ。

**本西委員** 前回配られた資料は数年前の交通量調査だ。直近のはあるか。

**土木部** そんなに変わっていない感じだが、障害物除去道路264号線の拡幅が進んでいる。これが葛飾区で環7とつながれば状況は変わってくる。この道路は災害時に緊急車両が通れるようにするもの。区道のうち最優先して行っている。

**渡部委員長** 本日は継続。次いで4号。

**本西委員** 公共下水道整備はどうか。

**土木部** ほぼ100%整備された。

**本西委員** 8つのポンプ場のうち6つが耐水化されていないが。

**土木部** 受変電設備の耐水化、施設のかさ上げなど28年までに急いで欲しい旨、都下水道局に頼んでいる。

**本西委員** 最近ではゲリラ豪雨等で内水氾濫が増えているが。

**野崎信委員(自民)** 内水氾濫では財産等の被害を受ける。同じ場所が被害を受けるのだ。対策を優先すべきだ。

**土木部** 松本地区では50mmで浸水している。バイパス管設置など下水道局と対策を講じている。

ー中間略ー

**須田委員** 内水氾濫は視点を考えるべきではないか。内水対策、スーパー堤防対策は金の配分の仕方が重要。関宿の水閘門を改修しないとスーパー堤防を造った意味がない。

江戸川に流れる水は限られている。スーパー堤防の必要性は低い。今、必要なのは内水対策でここに重点を置くべきだ。

**渡部委員長** 本日は継続とする。